

**（件名） 第5回中国国際輸入博覧会に、北海道食品ブースを出展（5回連続）**

中国最大級の国家的イベントである中国国際輸入博覧会（上海輸入博）が、今年も開催されました。

**（1）概要**

上海輸入博は、「一帯一路」国際協力サミットフォーラム（2017年）で習近平国家主席が基調講演の中で実施を発表したもので、2018年以降、毎年11月に上海で開催されています。本年はフォーチュングローバル500にランクインする企業中284社が出展するなど、中国市場に展開する世界の業界トップ企業にとって、外すことの出来ない重要な企業PRの場となっています。

**<第5回上海輸入博データ>**

会期：11月5日～10日（6日間）

主催者：中国商務部、上海市人民政府

入場者数：約46万人（※昨年は約48万人）

出展社：145の国・地域・国際組織、約2,800社

成約見込額：735.2億米ドル（※昨年から3.9%増）

**（2）新型コロナによる厳しい入場規制**

4月から5月に厳格なロックダウンを経験した上海では、7月以降、比較的新型コロナの感染が抑制されておりましたが、感染力の強いオミクロン株が中国各地で市中感染を広げる中で、「ゼロコロナ政策」堅持の方針の下、今回の上海輸入博に当たっては過去3年間でも最も厳格な防疫体制が敷かれました。

特に事前の入場資格に関する審査は厳しく、入場の都度、ワクチン接種記録、24時間以内のPCR検査の陰性証明を入場者アプリにアップロードすることが義務付けられるとともに、新型コロナの市中感染が発生している地域から来た者の入場が制限されました。これにより、上海市外からのバイヤーの入場は極めて難しくなり、来場者数がわずかながら昨年より減少しました。

一方で、新型コロナ対策のため、11月から12月上旬に予定されていた他の大型博覧会が軒並み中止や延期を余儀なくされる中、上海輸入博だけが予定通りに開催されたという点からは、上海におけるこのイベントの特別な地位を改めて感じました。

**（3）北海道食品ブース**

当事務所では、輸出商社の(株)フォレストリと協力し、北海道食品ブースを出展しました。北海道としては、第1回から5回連続での出展となります。日本酒、菓子、調味料、アイスクリームなど、約80品目の食品サンプルを出品し、試食・試飲の提供を行いました。

さらに、会場にはバイヤーだけでなく、一般消費者も多数来場していることから、北海道の食や観光、アイヌ文化など、北海道の魅力を総合的にPRする映像の放映を行いました。

また、(株)ニトリパブリックが、昨年に引き続きJETRO日本食品館の中に道産日本酒ブースを出展し、商談や試飲提供を行いました。



北海道食品ブース

**（4）今後の対応**

博覧会の会場では、多数の来場者に対して効率良く道産品のPRを行う必要があるため、詳細な商談については、博覧会終了後の対応となります。(株)フォレストリの報告によれば、開催期間を通じて約350社500名のバイヤーと連絡先を交換したとのことであり、今後、各バイヤーと丁寧な商談を進め、道産食品の販路拡大が図られるよう、当事務所としてもフォローしてまいります。



道産日本酒ブース